



国労東京支部

2021年5月16日

第5号

国鉄労働組合東京支部機関紙

発行責任者 野佐根 浩巳

編集責任者 佐藤 賢一

国労常磐地区協議会

分会代表者会議開催される

5月12日、松戸市勤労会館において、常磐地区協議会分会代表者会議が開催された。常磐地区協議会は東京支部発足に伴って6月26日に解散し、今後は「常磐地区連絡会」として、引き続き集まる場を設け、運動を継続していく予定だ。今号では仲間の発言を紹介したい。

Kさん（JESS職場）

今年の職場過半数代表者選挙では、立候補者と一緒に管区内の職場を回った。M駅では駅の改良工事で寝室の天井がむき出しになっていた。管区長と話をし、当面の処置でビニールシートで覆った。安全衛生委員会を活用し、各職場の問題点を改善させる取り組み、そして仲間に戻す運動をしている。このような運動を続けてきた中で、若い子も少しずつ職場の問題点を話してくれるようになった。今後も継続していく。

Nさん（駅職場）

みどりの窓口がなくなっていく問題で、職場の若い子が「私たちどこへ行くの」と不安になっている。自分は「労働組合の力が弱くなってくるとこうなるんだよ。だから労働組合は必要なんだよ」と言っている。

Mさん（OB）

私もK駅時代の若い子と付き合っている。一生懸命組織拡大しても、その受け皿がなければしょうがない。今日のような集まりを持っていくことが大切だと思う。常磐連合の交流の場を設けられるよう、前向きな検討をお願いしたい。私も若い子を、このような場に連れてきたいと考えている。コロナ禍で酒は飲めないが、若い子は酒なしでも参加してくれる。

支部への質問Q&A

Q 24担当をしている。旧上野支部では毎年6月までに組合費の新データを上げるため、5月に財政担当者会議を開催していたが、新年度の組合費について、会議の予定はあるのか？

A 会議を開催する予定はないが、詳細については業務連絡で落とすので、今年はこの対応でお願いしたい。

Q 今まではFAXで24関係の資料を送っていたが、今後はどうすればよい？

A 支部の担当者に確認して、後日お知らせする。（後日、エリア本部、支部にFAXしてもらうことを回答）

Q 職場に組合員は11人いるが、現役は3人だけで、他は出向である。この間、分会としての集まりは持っていない。私も今年退職で、近いうちに元分会には誰もいなくなる。分会の維持ができなくなってしまうが、どうしたらよいのか？

A 大切な問題なので、支部執行委員会で議論して方向性を出さなければいけない。そのうえで皆さんと一緒に考えていきたい。

国労常磐地区協議会定期（解散）委員会

日時 6月26日（土）10：30～

場所 葛飾区亀有地区センター